

空きビル、陶芸の拠点に

多治見市で改装式典と内覧会

多治見市が昨年度初めて開催した「たじみビジネスプランコンテスト」で、最優秀賞のまちなかグランプリに輝き、賞金300万円を獲得した花山和也さん(33)＝同市大日町＝の空きビル再生プロジェクトが完成した。約20年使われていなかった同市新町のビルをリノベーションした「新町ビル」として復活し、26日にオープンを祝う式典と内覧会が行われた。

(山本貴史)

ビルは鉄筋コンクリート造り、4住。「美濃焼の産地で作家の作品を階建て。1967年に建設され、以前はカメラ店や音楽教室があったが、約20年前から空きビルの状態だった。

花山さんは陶芸作家のアシスタントとして5年前に名古屋市中から移



花山さん発案 販売所や展示場に活用

が経営する美濃焼のセレクトショップ、3階は貸事務所にした。東濃信用金庫と民間都市開発推進機構の共同出資金などを含め、約2千万円かけて内装設備をリノベーションした。

式典後、花山さんは「皆さんの協力もあり、無事にオープンできてほっとしている。ビルを活用して陶磁器産業と個人の陶芸家を結び付け、美濃焼をより発展させていければ」と話した。



空きビルの再生プロジェクトを進めた花山和也さん＝同

内装設備をリノベーションして生まれ変わった新町ビル＝多治見市新町